

科目コード	B1914	開講学期	通年	単位数	4	一般聴講	可	LA聴講	可	
授業科目名	国際化・グローバル化社会と日本文学									
Course Title	Understanding Japanese Literature in Relation to Globalization									
担当教員	室永 優子						責任教員	室永 優子		
曜限:日程	水2									
対象学年	1年	自由選択	2年	自由選択	3年	—	4年	—	重複履修	不可

授業のねらいと到達目標

国境を越えて「ヒト・モノ・カネ・情報」が行き交うなかで、私たち日本の文化・文学はどのように見られているのか？「周囲の評価イコール自分」なのか？国境を越えて伝わっていくことの良さと、決して翻訳できない（国境を越えられない）ものとは何なのか？などの課題に、日本文学を通して向き合う。

授業計画・春期

- ・この講義で何を学ぶか&文学とは何か
- ・神話とは何か—神話に見る国民性、日本人の国民性とは？
- ・『古事記』に見る自然—宮崎駿監督の映画が発するメッセージと関連して
- ・八咫大蛇（やまたのおろち）の神話に見る英雄像
—映画『スター・ウォーズ』の英雄像に神話の原理を見る
- ・この国はいつ、なぜ「日本」になったのか？
- ・文字の伝来、文字の発明—世界の孤立語、日本語の文章の成立
- ・和歌—短く限られた言葉がもつ力
- ・物語の誕生『竹取物語』—想像の世界の魅力
- ・『源氏物語』はなぜ、今も読み継がれているのか

授業計画・秋期

- ・この国の誕生は二度ある。いつといつ？なぜそうなのか？
- ・日本が生まれ変わった「近代」という時代
—喪失したものと得たもの。日本人の生き方がどう変わったか？
- ・「自由意志」を持つということ
- ・「国語」の誕生—明治になって新たに生まれた日本語
- ・欧米で生まれた「小説」を日本でも書いてみたい—ある日本人の夢
- ・「ありのまま」の自分を生きることの悩み、「社会」との葛藤
—明治の日本人と現代の私たち、映画『アナと雪の女王』

評価方法

期末試験（もしくはレポート）と、毎回の提出物（感想文）で評価します。

学内販売予定教科書

その他の教科書・教材

既成の教科書は使用しませんが、毎時、教材のプリントを配布します。紙、プリント代の実費をいただきます。

参考文献

学生に望むこと・その他

講義の方法については、学生の希望も考慮します。講義内容については、鵜呑みにせず、毎回の感想文を通して自由に共感/反論して、自分の頭で考え、自分の言葉で表現し、自分とは違う相手の考えを尊重してください。

履修要件